

受診の際は、

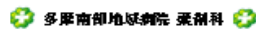
お薬手帳を**忘**れずに！



お薬内容がその場で分からない場合、
確認に**お時間をいただき**たり、
後日の**電話連絡や再来院**をお願いすることがあります！



日頃からお薬手帳の携帯にご協力をお願いします。



○ お願い ○

当院では初診時や入院時の他に、手術・検査の予定を立てる際にもお薬内容の確認作業を行っています。これは、お薬の中には事前に服用を一定期間お休みする必要があるものが含まれており、そのお薬を確実に把握して正しい休薬を行えるようにしていただくためです。場合によっては急な検査が決まり、その場でお薬内容の確認が必要なこともあるかと思えます。安全な手術・検査を行うためにも、ぜひ日頃からお薬手帳の携帯にご協力ください。

お薬手帳とは？

処方されたお薬の情報を記録する手帳（A6 サイズが一般的）です。記録内容には住所や連絡先、アレルギー歴・副作用歴、既往歴なども含まれています。

複数の医療機関を受診する時や転居した時など、お薬手帳があれば自身の服用歴を分かってもらえる他、旅行の時、救急病院への受診や入院の時、災害にあった時などにも役立ちます。

お薬手帳、こんな使い方は大丈夫？

・かかっている医療機関によって手帳を使い分けている。

⇒複数の医療機関を受診されている場合、効能が重複したり、飲み合わせの良くないお薬が処方されたりするかもしれません。このようなことがないように確認してもらうためにも、お薬手帳は一つにまとめるようにしましょう。

・通帳と一緒に保管している。

⇒大事なものであることは確かです。ただ、何かあった時や当院のように提示を求められる場面があるので、保管場所は普段お使いのカバンの中が最適でしょう。

・落書き帳として使っている。

⇒気になることや伝えたいことなどはどんどんメモ書きしていきましょう。本格的な落書き帳としてはサイズが小さくもの足りないかと思えます。A4サイズのノートをおすすめします。

・自分で作ったお薬手帳を使っている。

⇒薬局で作ってもらえるお薬手帳にお洒落なものはなかなか少ないかと思えます。自分好みのお薬手帳を作成して、私どもを驚かせてみるのも一興かと思えます。

